

健全育成シリーズ(15)

『以姿伝心 以言伝心』



「ピーひゃら、ピーひゃら、
とんとこ、とんとこ」篠笛と
太鼓の音が入り混じり、子ど
もの声が、それに賑やかさを
加えている。地域の人が一
年に一度、楽しみにしている祭
り。その練習が、九月から始
まった。

今年、地域の神事関係の世
話をする役が回ってきた。

毎夜、四十人ほどの小中高
生に、師匠の大人が神楽やお
囃子の練習に集まってくる。

まだ、小さな小学生は練習
よりもその雰囲気を楽しみに
やってくるようだ。そして、
時間が来ると「苦労様」の意
味でジュースが配られる。私
は、出席状況を確認しながら
そのジュースを配る仕事をし
ていた。

子ども達は先を争ってジュ
ースを配る場所に殺到する。
中には、並び損ねて欲しいジ
ュースがもらえなくて泣き出
す子もいる。

さて、こうした姿は「子ど
もだから仕方ない」で良いの
でしょうか。

「子どもは地域で育つ」そん
なことがよく口にされます

が、それは「今は昔」の話にな
ってきているのが昨今の大き
な課題なのかもしれません。

私は、まず、一列に順序よ
く並ぶことから教えました。

一日、二日と過ぎるにつれて
何も言わなくとも子ども達は
声を掛けて並ぶようになって
きました。そして、一人ひと
りにジュースを渡しながら「お
名前は」と問い、「○○です」と
返事をさせること「ありがどう
ございました。ごちそうさま。」
と言うお礼の言葉を付け加え
る事を全員の子どもに伝えて
いきました。

最初は、忘れたり、小声で
しか言えない子どももいまし
たが毎日のことなので最後は
は、全員の子どもがそうした
習慣を身に付けていました。

また、子ども達が一斉に狭
い公民館の玄関に靴を脱ぐの
で直に玄関は靴の山になって
しまいます。そんな時、一人
の大人が、その靴を揃えるの
を見ていた子どもが自分の靴
をそろえ、次に来た子もそれ
に続く姿も見られました。

私たちは、いつの間にか「地
域での躰」ということを忘れ、
家庭のせい、学校のせいなど
と「地域で育つ子ども」という
視点を忘れていたのかもしれ
ません。

地域での行事が減りつつあ
る状況の今こそ「地域で躰」の

重要性を示す場面だったよう
に思います。「子どもは大人の
姿を見て育つ」まさしく真理
です。まだ、幼い子どもにと
って「行動の手本」は大人なの
です。

祭りの話から離れますが、
他の地域からやってきた人が
よくこんな話を話します。

「都留の人は狭い道などで道
を譲ってもあいさつをしない」
さて、どうでしょうか。自分
の家の子どもだけでなく、他
の家の子どもを車に乗せる事
もあると思いますが、道を譲
ってもらった時に「あいさつ」
をしていますか。ちよつと思
い返してみても下さい。子ども
は、その小さな目で、小さな
耳で大人の行動、言葉を鋭く
観察しているのです。まして
や、自分の身近な家族、地域
の人の行動や言葉は、やがて
子どもの行動に大きく影響し、
再現になっていくものです。

「以姿伝心・以言伝心」子ど
もの行動について様々な事が
言われていますが、毎日のほ
んの少しの大人の行動が子ど
もの「心」を育てるものではな
いでしょうか。

今年も「うるさいおやじ」の
独り言として自戒を込めて、
あらためて子どもの前での行
動を考え直そうとこの文章を
書いています。

メイク・アクションつる ふるさと自慢づくりコンテスト(お菓子部門)の作品

都留市では、産業及び地域の活性化を図るため、産業のまちづくり『メイク・アクションつる』を掲げその一事業として産業まつりに『ふるさと自慢づくり』と題して、主に地元で生産された農林産物などを利用したお菓子づくりコンテストを実施しました。多数出品されたお菓子は、どれも甲乙つけがたい見事なお菓子でした。今回は都留市川棚の村上政子さんの作品で、簡単でおやつにぴったりなお菓子です。

《材料》

- (皮)
- 小麦粉 1キログラム
- ベーキングパウダー 35グラム
- マーガリン 50グラム
- 砂糖 50グラム
- 卵 4個
- 牛乳 適宜
- 塩 少々
- (あんこ)
- 1個あたり 40グラム



地粉まんじゅう

1個分

エネルギー	326キロカロリー
タンパク質	7.4グラム
脂肪	4.1グラム
カルシウム	66.5ミリグラム

《作り方》

- ①皮は材料を全部まぜ合わせ、まんじゅうを作る要領で良くこねて、15分寝かせます。
- ②こねたまんじゅう皮60グラムに対しあんこ40グラムを入れ、形を整えながら包みます。
- ③蒸気のあがった蒸し器でまんじゅうを蒸かします。